

# YUSU JOB!



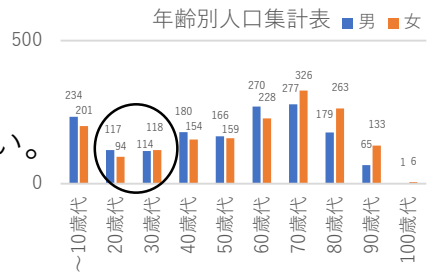
～チェーンソー資格取得で森と町を守ろう!～ 梶原町 総務課 大町祐希

## ①梶原町の問題

### = 若者定住者が少ない

20代～30代は100人前後しかおらず若年層が少ない。  
(グラフ参照)

⇒ **高校・大学進学／就職時に出て行ってしまふ。**



## ②若者流出に歯止めに必要なこと

### = 生活と仕事の調和〈ワークライフバランス〉の実現

第7次梶原町総合振興計画のアンケートにより、**若者の町外へ流出の歯止めに必要なことは?**  
⇒ **ワーク・ライフ・バランスの実現が大事と20代～30代世代の半数以上が選択。**

## ③梶原町の現状 = 生活(ライフ)はOK、仕事(ワーク)が課題

【ライフ】若者が暮らしやすい補助金が充実

例：若者定住住宅整備補助金、保幼小中高の一貫教育の推進などがあり、子どもから大人まで住みやすい環境となっている。

【ワーク】都市に比べると選択の幅は狭い。しかし、**林業は人手不足!!**

※町内の林業従事者の雇用については44人いるが、なんと**20代が0人。**

⇒梶原町の**林業の未来が危うい。だが林業には、労働ニーズがある!!**

⇒しかも、実は…**林業はワーク・ライフ・バランスに最適!**



## ④梶原町の現状の林業関係政策

### = 町内若者向け政策が不足…

(1)森林フェスティバル、森林づくり体験ツアー  
⇒子どもたちや移住者の方々の森林への関心UP!

(2)林業・木材産業担い手育成支援事業など  
⇒林業従事者育成!

※しかし現状の政策は、子どもや町外・移住者向けの政策が多い。

= **10代後半～20代が林業を始めるきっかけになる直接的な政策がない!**

### <補足>

#### 若者にとっての林業の魅力

(1)ワーク・ライフ・バランスに最適

= 明るい時間に作業ができ、四季を感じることもでき、木からのリラックス効果がある。

(2)若者に人気

= 田舎に暮らす場を求める若者の流れや、林業大専が各地に開校し、ゼロから林業を学べる場が増え、気軽に始めやすい環境がある。

(3)将来性が高い

= 「スマート林業」や第六次産業など一歩先を行く林業の他にも、「国産材を使用した家」としてハウスメーカーと林業のタッグを組むなど、「質のいい日本材木」として海外へ需要が増加中。

## ⑤政策 = YUSU JOB!

【ターゲット】高校生(梶原小・中学校出身者含む)

【内容】チェーンソーの免許取得補助(受講料半額補助!)

(1)チェーンソーの免許は、林業するのに最適且つ、数日あれば取得できる。⇒**林業開始の必須資格!**  
(2)取得後は、森林組合や地域おこし協力隊の方と協力して、実際に木を切る授業など行い、**林業そのものに親しみを持ってもらえる!**



## ⑥効果 = 若手林業定住者UP

(1)高校卒業後、そのまま町内の林業に就職し定住  
(2)一度町外に出ても、戻ってきて林業に就職し定住  
⇒**チェーンソー資格が定住のきっかけに!**

## ⑦予算 = 88万円(年間)

受講料22,000円×40名

## ⑧ビジョン = 若者定住者が増加し、

**森と町の笑顔が守られる!**

